

「ごみ組成分析 実施報告」

1 目的

ごみの組成を分析し、ごみ質の特徴を把握することにより、今後のごみ減量・資源化の方策を検討する。また、家庭ごみの中に含まれる食品ロス（食べ残し、直接廃棄）の特徴を把握することにより、食品ロス削減推進の方策を検討する。

2 日程

令和4年1月17日（月）から1月28日（金）まで

3 場所

小平・村山・大和衛生組合（4・5号ごみ焼却施設、不燃・粗大ごみ処理施設）

4 実施者

株式会社杉山・栗原環境事務所

5 調査方法

一般家庭の燃やすごみ、燃やさないごみ及びプラスチック製容器包装を住居形態別に収集して分析を行う。また、事業系の燃やすごみを主に飲食店及び事務所から収集して分析を行う。

6 分析結果（速報値）

家庭ごみの内、燃やすごみの分別が不適正なものの割合は21.6%（令和元年度比+1.9%）、燃やさないごみの分別が不適正なものの割合は15.9%（令和元年度比-10.6%）、プラスチック製容器包装の分別が不適正なものの割合は21.2%（令和元年度比-0.4%）であった。

燃やすごみの食品ロスの割合は10.9%（令和2年度食品ロス実態調査比+1.2%）であり、そのうち、直接廃棄（手つかず食品）が7.7%（令和2年度比+1.1%）、食べ残しが3.2%（令和2年度比+0.1%）であった。また、調理くずは27.7%（令和2年度比-3.9%）であった。なお、今回の調査では、8地域（令和2年度は1地域）から回収した燃やすごみ、約1,163kg（令和2年度は約415kg）をサンプルとした。



分類作業



分類したごみ

「事業系廃棄物展開検査 実施報告」

1 目的

事業系一般廃棄物中の不適正物（不分別物、資源、他市廃棄物等）を確認することにより、事業者へ改善を促すとともに、事業系一般廃棄物持込手数料改定に係る資料とする。

2 日時

令和4年 ①2月8日（火）、②2月15日（火）、③2月18日（金）
午前8時30分から午前11時まで

3 場所

小平・村山・大和衛生組合

4 実施者

小平市、武蔵村山市、東大和市、小平・村山・大和衛生組合

5 検査結果

- ① 雑がみ等の資源の混入が目立った。ただし、感染症対策等の理由により可燃物として廃棄している可能性も否定できない。
- ② 他市の廃棄物の混入は確認できなかった。
- ③ 多量の空きカンや大型のカラーコーン等の不燃物を袋外から見えないように排出している悪質な例が確認された。



雑がみ（可燃性資源）



空きカン（不燃性資源）